

## 飯島賢二の『恐縮ですが・・・一言コラム』

### 第 150 回 がんばれ！お父さん～サラリーマン川柳から

2006.5.21

毎年この時期になると、第一生命「サラリーマン川柳コンクール」の結果が発表になる。この川柳、会社員や主婦、学生等々、いわゆる素人さんが応募してくる中から、優秀作品を選んでいく。昭和 62 年にスタートし、今回で 19 回目を迎えたこのコンクール、今までの累積応募作品数 751,504 句というから驚きである。

この作品が実に面白い。時代ごとの世評を見事に表し、思わず笑ってしまうものばかり、小生、誰にでも「お勧め物」として、つい広告塔を務めてしまう。本当は、第一生命に著作権が帰属され、当然、無断転載を禁じている。

(今回も単行本として平成 18 年 12 月に発売予定)

が、第一生命のホームページ (<http://event.dai-ichi-life.co.jp/senryu/>) を見ることを条件に、小生好みの川柳を紹介してしまう。

昼食は 妻がセレヴで 俺セルフ	一夢庵 (今回第一位)
二歳だろ トロウニ選ぶな 卵食え	読み人知られたがらず (第四位)
妻の口 マナーモードに 切りかえたい	ポチのパパ (第五位)
片付ける！ 言ってた上司が 片付いた	清掃業者 (第六位)
痩せるツボ 脂肪が邪魔して 探せない	雪乃このひとりごと (第七位)
散髪代 オレは千円 犬一万	下流の夫 (第十位)

ベスト 10 以外から

年金の 出る頃妻は 家を出る	桂馬
少子化を 食い止めたいが 相手なし	壽退職希望者
昔パー 今は病院 ハシゴする	健康不良児
旅先の 妻から電話 「ゴミ出したぁ」	のらくろ

いかなものか、実はホームページには、もっと沢山の川柳が発表されている。このサラリーマン川柳を見る限り、いかにも「親父」は粗大ゴミ、妻や子供に馬鹿にされ、犬にまで遠慮して、病気を抱えながら細々と生きている。「サラリーマンは、気楽な家業ときたもんだぁ」とはしゃいでいた時代が懐かしい。確かに今、飲食業を支えているのは、居酒屋のお父さんではなく、レストランランチのお母さん方、変に納得してしまう。

全国のお父さん！ 僕もがんばるから、一緒にがんばろ～！！